

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		基準を満たし、法令を遵守したスペースの確保ができています。個々に応じた環境調整をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		職員の配置数は基準を満たし、利用者や職員共に負担のない人員配置を心掛けています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		バリアフリー化された構造となっており、子どもに合わせて低めの手すりをするなどしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		主に朝礼時に支援の振り返りや業務内容の確認をしています。毎月の職員会議やITを活用して全職員が参画できるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年、アンケートを実施し、課題と思われることを改善しています。結果は保護者へ配布するようにしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		毎年、公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者の評価を受けています。評価結果を基に、業務改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		職員個々に合った外部研修や、法人内での研修会へ参加できるようにしています。

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		普段の支援の中でのアセスメントや、ケア会議での保護者のお話しなどから、ニーズや課題について分析し計画を立てるようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、個別にアセスメントし日誌に記録をするようにしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		主に長期休み前や季節の節目のときに、活動内容について職員間で協議するようにしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		保護者に相談したり、職員間で協議しながら様々な活動提供ができるよう取り組んでいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		利用時間に応じたプログラムになるようにしています。休日は、イベント参加やクッキングなどを取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		平日は利用時間が短いため個別活動が主になりますが、早帰りの日や休日、長期休みでは、創作活動やミュージックケアなどの集団活動も取り入れています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝のミーティングで、その日の利用者の留意事項と支援内容の見直し、確認を行い、当日の役割分担の確認を行っています。ITを活用し全職員が情報共有できるようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その日には時間的に難しいため、翌日、振り返りを行い対応方法を検討しています。緊急の場合は、当日に情報共有、課題抽出、対応策を立てるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日誌に日々の様子を記録しています。記録を基に検証、改善策を講じ、個別支援計画にも反映するようにしています。
18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		関係機関と連携しながら定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ガイドラインの基本活動を基に、個々に合った活動を組み合わせさせて支援を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本的には担当者が参画していますが、状況により他の職員や管理者が参加することもあります。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校によりますが、年間計画や月の行事予定表を頂いたり、変更等の確認連絡や状況の共有を行うことができます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、該当される方はいませんが、必要に応じて連絡体制の検討をしていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談支援専門員や保護者を介して情報収集を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		相談員を介して情報提供を行っています。法人内は連携がとりやすいこともあり、実際に移行先へ出向き、支援内容等の情報提供をすることもあります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		法人内の発達委員会主催の研修会やコンサルティングに定期的に参加し助言をもらい支援に役立てるようにしています。また多機能型療育サポートかぼのと連携をとるようにしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	法人内外のイベントに参加した時や、外出先の公園などで他児と交流する機会があります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		子ども部会や権利擁護部会(研修会)に参加するなどしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送りの時に状況を共有させていただいたり、連絡カードやLINEなども活用して情報共有ができるようにしています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングは実施していませんが、相談対応や助言はさせていただいています。内容により適切な機関へお繋ぎするなどしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明させていただき、変更があるときは文書も添えてお伝えするようにしています。ご質問等はその都度ご返答させていただくようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		担当者会議やご利用時に助言させていただいたり、相談内容により適切な関係機関へお繋ぎするなどしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	感染症流行のこともあり開催できていません。今後は保護者同士の連携も支援していきたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付窓口を設置し、玄関先に窓口の説明と担当職員の顔写真付きでわかりやすく掲示しています。苦情があった時は、その日の内に対応するようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		広報誌や通信を定期的に発行しています。毎月のダイアリーで活動の様子も発信するようにしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の守秘義務について、定期的に職員へ伝え徹底を図っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的なものを中心に、その方に合った意思の疎通や伝達をさせていただいています。保護者とは対面やLINEを活用しながら情報伝達をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の方と一緒に祭りやイベントを開いています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		職員間では共有し周知を図っていますが、保護者の方への説明は十分ではないため、お伝えできるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に火災と水害の避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に虐待防止・身体拘束の研修を行い、日常でも虐待の意識が持てるようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、該当する方はいませんが、研修を通して適切な対応の仕方の周知を図っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者を通じて適切な対応ができるようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	事例集の作成はしていませんが、記録して毎月、全職員で共有と対応について検討しています。